（仮称）松戸市エネルギー回収型廃棄物処理施設基本構想（案）概要版

1　基本構想策定の目的

本市における可燃ごみの処理施設は、和名ケ谷クリーンセンターの1施設体制となっており、平成7年に稼働してからすでに約29年が経過しております。可燃ごみを安定的に処理するため、旧クリーンセンター用地を建設候補地として整備する新焼却施設の方向性を定めた、「松戸市エネルギー回収型廃棄物処理施設基本構想」を策定しました。

【広域化・集約化の検討】

国や千葉県のごみ処理施設の広域化・集約化方針の中で、本市がごみ処理の広域化・施設の集約化の検討対象と示されたことから、近隣市と協議を行いました。

結果、各市個別の課題を有しており、その課題の解決に時間を要すること、また、令和16年度以降、長期に渡り継続的にごみを受け入れる自治体は近隣市にないことから、単独処理を念頭に新焼却施設整備を進めていきます。

なお、引き続き近隣市の動向を注視しつつ、情報交換を行っていきます。

【ゼロカーボンシティの実現】

本市では、令和4年3月に「松戸市地球温暖化対策実行計画」を策定し、2050年度までに、「ゼロカーボンシティ」の実現に向け、様々な取り組みを推進することとしています。

また、ごみの焼却に伴う二酸化炭素の排出を削減するため、3R（リデュース・リユース・リサイクル）を推進し、ごみ減量に努めているところです。

なお、本施設では、高効率な廃棄物発電及び、太陽光発電等の再生可能エネルギー設備を最大限導入するとともに、可能な限り省エネルギー設備を導入し、二酸化炭素の排出量削減を目指してまいります。

2　基本方針

新焼却施設の整備に当たり、次に示す6つの基本方針を設定しました。

基本方針１　安全・安心な施設	・周辺住民が安全・安心な施設 ・ごみの安定処理に優れた施設
基本方針２　周辺環境への配慮	環境保全対策を十分に実施し、周辺環境に配慮した施設
基本方針３　循環型まちづくりへの寄与	廃棄物エネルギーを効率的に回収し、脱炭素社会に向けエネルギーの有効活用を図る
基本方針４　環境学習・啓発を行う施設	ごみ処理などの環境問題に興味を抱くことができるなど、環境学習の拠点となる施設
基本方針５　災害対策の拠点	平常時は地域交流の場として、災害時には地域の防災拠点となる施設 （フェーズフリー）
基本方針６　経済性に優れた施設	施設整備費、運営費等の削減を目指し、費用対効果に優れた施設

3　環境保全計画

公害防止基準値については、本施設が住宅地に隣接していることから、各種法令・条例以上の厳しい値を設定します。なお、設定した公害防止基準値は、施設稼働後も定期的に測定しながら監視することで周辺環境の保全に努めてまいります。

4　施設規模

施設規模につきましては、現在実施している環境影響評価における施設規模である402t/日を、最大のものと見込みます。また、災害廃棄物処理量は、本施設の施設規模の約10%を見込みます。

なお、施設規模については、今後も、ごみ排出量の推移等を注視しながら、精査してまいります。

5　施設整備スケジュール

項目		R5	R6	R7	R8	R9	R10	R11	R12	R13	R14	R15	R16
施設整備調査		■	■										
PFI等導入可能性調査		■	■	■									
環境影響評価		■	■	■	■								
都市計画変更手続き			■	■	■								
事業者選定				■	■								
設計・建設工事	解体工事					■	■	■					
	実施設計					■	■	■					
	建設工事					■	■	■	■	■	■	■	
	試運転											■	
施設稼働													■